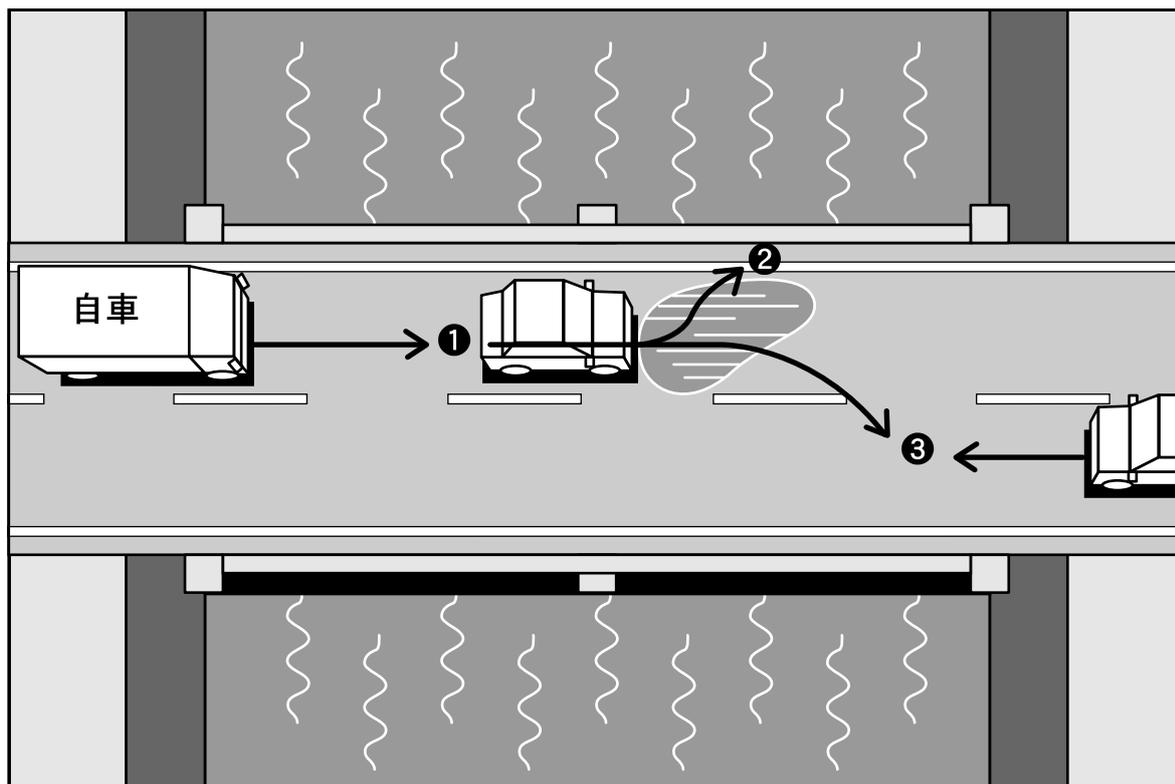


〔トラック5〕冬期、橋の上を走行



1．主な危険要因の例

- ① 橋の一部が凍結しており、それによって前車がスリップすると、追突する危険がある。
- ② 路面の凍結に気づかずにこのまま進行すると、自車がスリップして橋げた等に衝突する危険がある。
- ③ 路面の凍結に気づかずにこのまま進行すると、自車がスリップして対向車線にはみ出し、対向車と衝突する危険がある。

2．安全運転の例

冬期の橋の上は、雪がない場合でも部分的に凍結していることがあるので、路面状態に十分注意する。

特に雪や雨が降った後の深夜から明け方にかけては路面が凍結しやすいので、スピードを十分落とすとともに前車との車間距離も長くにとって走行する。

3．乗務員指導のポイント

橋の上やトンネルの出入口、切り通し、日陰になっている部分などは、特に凍結しやすいので路面状態に十分注意して走行するよう指導する。

冬期はタイヤチェーンを必ず携行するとともに、破損や傷がないかどうかの点検も確実にしておくよう指導する。

電光掲示板等で「チェーン装着」の指示が出されたときは、すみやかに安全な場所に車を止めてチェーンを装着するよう指導する。